

## 2006年新日本石油企業カレンダーのお知らせ

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、2006年の企業カレンダーのデザインに、エルミタージュ美術館(ロシア・サンクトペテルブルク)を採用しましたので、お知らせいたします。

同美術館は、18世紀に女帝エカテリーナ2世のコレクションから始まり、現在では250万点を超える作品が収蔵されている世界最大級の美術館です。

当社グループは、上流から下流部門までの一貫操業体制の確立を目指し、石油開発事業の拡充に取り組んでおり、世界有数の原油確認埋蔵量をもつリビアにおいても積極的に事業を展開し、引き続きエネルギーの安定的な供給のため一層の努力を進めてまいります。

当社は、2000年より企業カレンダーに印象派名画コレクションを採用しており、毎年世界各国の美術館にスポットを当ててまいりました。本年も同美術館の充実したコレクションから厳選した、いずれも著名作家の代表作である貴重な美の世界を皆様にお届けいたします。

## 記

## 【表紙デザイン】



## 【過去の当社採用美術館】

- ・2000年オルセー美術館  
(パリ)
- ・2001年シカゴ美術館  
(シカゴ)
- ・2002年コートールド美術館  
(ロンドン)
- ・2003年プーシキン美術館  
(モスクワ)
- ・2004年バーンズ・コレクション  
(フィラデルフィア)
- ・2005年ボストン美術館  
(ボストン)

※2005年ボストン美術館は、第33回カレンダーイメージ調査(日本インフォメーション(株)実施)にて、人気投票で総合1位を獲得(男性2位、女性1位)。部屋別に飾りたいカレンダー部門においても、「リビング」「寝室」「玄関」に最適ランキングで1位を獲得。

以上